



Cycle Train & Ride on GINNOBASHAMICHI・KOSEKINOMICHI

第6回日本遺産「銀の馬車道 鉦石の道」 サイクルトレイン

2023年9月10日(日)

② 鉦石の道サイクルコース

<START> 新井駅

<GOAL> 姫路城「城見台公園」

— 参加案内 —



主催

日本遺産「銀の馬車道・鉦石の道」推進協議会
(事務局：兵庫県中播磨県民センター)

このイベントは、日本遺産「銀の馬車道・鉦石の道」推進協議会（事務局：兵庫県中播磨県民センター内）が主催し、運営はNPO法人姫路コンベンションサポートが実施します。

連絡お問合せ

9月10日(日)

当日連絡先

姫路コンベンションサポート 依田(よだ)

TEL 090-2041-9828

.....

9月8日(金)18:00まで

TEL:079-286-8988

姫路コンベンションサポート

担当：依田(よだ) 生尾(なまお)

緊急のお知らせについて

★悪天候が予想される場合は、当日朝6:00の時点で判断し、電話連絡と合わせて、イベントWEBサイトに実施可否を掲載いたします。 <https://hcs.or.jp/bts-charitetsu/>

2023

9/10 (日)

当日INFORMATION

集合場所・アクセス

●集合場所：JR播但線 新井駅



<住所> 兵庫県朝来市新井 5 8 8 - 2



●受付開始時間：9時00分～

●受付場所：新井駅前特設会場

<アクセス>

【自転車の場合】 ●姫路駅から約4時間

【電車の場合】 ●JR播但線「姫路駅」から約1時間半「新井駅」下車。

※姫路駅7:33発→新井駅8:59の列車に乗られることをおすすめします。姫路駅までお車で越しの方は、兵庫県姫路総合庁舎の駐車場をご利用いただけます。事前にご一報ください。

イベントスケジュール

時間	スケジュール
9:00～	○受付開始 グループ分け発表、班別ミーティング
9:20～	出発 グループごとでスタート（3分間隔）
10:00頃	神子畑選鉱場跡 到着 休憩 ※軽食・お茶の配布
10:20頃～	神子畑選鉱場跡 出発
11:00頃	羽瀧鑄鉄橋通過
11:50頃	生野銀山へ、到着後昼食休憩
12:45～	○再出発式
13:00～	再出発 グループごとでリスタート（3分間隔） ふれあいマーケット長谷店、水車公園こっこん亭（神河町）、 甘地駅（市川町）辻川山公園（福崎町） 馬車道修築碑（姫路市）
16:45頃～	○各グループ毎 城見台公園ゴール
17:00頃	○最終グループ 城見台公園ゴール（予定）

●神子畑鑄鉄橋



鉱石運搬のために架けられた、日本最古の全鑄鉄製の橋。

●ゴール場所（城見台公園）



<住所> 兵庫県姫路市本町68

出発受付・ゴール時Info

- 1 受付でスタッフにお名前を教えてください。（*自転車の検車は各自お済ませください）
- 2 参加者用の専用ゼッケンをお渡ししますので、出発前に見える位置につけてください。
- 3 グループごとに順次出発！安全走行でサイクリングをお楽しみください。
- 4 安全管理上、サイクルトレイン乗車前および下車時、その他各休憩場所ごとに、スタッフより人数を確認させていただきますので、ご協力願います。
- 5 ゴール後、受付でお名前を告げ、**完走証と参加賞**をお受け取り下さい。
- 6 ゴール後、駅、駐車場までは、夕暮れの時間帯となりますので、各自お気をつけてお帰りください。

コース概要

★今も残る鉱山遺産とともに鉱山町の景観、歴史、生活、文化など様々な地域の姿を通じて、日本の鉱山史を体感いただけるコースです。

新井駅を出発しかつてはその規模と産出量が東洋一と謳われた神子畑選鉱場跡を訪れます。神子畑選鉱場跡で休憩後、岩津ねぎの産地を通り、生野銀山を目指します。

生野銀山では生野名物「ハヤシライス」を食べながら昼食休憩。昼食後は市川のせせらぎやのどかな田舎道など豊かな自然も満喫していただける下り基調のコースを楽しみながら、ゴールの世界文化遺産「国宝 姫路城」を目指します。ロードバイクや長距離ライド初心者でも安心して楽しんでいただけるコースです。

イベントルール・注意事項等

1 持ち物について

- ヘルメット ●輪行袋（転倒や体調不良の場合に、最寄り駅から電車に乗っていただくため必須） ●替えチューブ（パンク時用）
- 自転車のヘッドライト（フロント・バックの両方お持ちでない方はご参加できません）

2 現地集合・解散について

- 集合、解散について送迎は行いません。各自の自己責任でお願いします。
- 新井駅まで播但線をご利用予定の方は、自転車を輪行袋に入れてご乗車ください。
- 姫路まで車でお越しの場合は、駐車場は城見台公園北にある姫山駐車場（姫路市本町68番地56）が便利です。兵庫県姫路総合庁舎駐車場（姫路市北条1-98）もご利用可能です。

3 グループ分けについて

- 受付時、自転車の種類等を踏まえたチーム分けをお知らせし、みなさまに番号を通知させていただきます。その際、通知した番号の表示がある参加者ゼッケンと安全ピンをお渡ししますので、必ず番号が見えるように装着をお願いします。番号順に1チーム7～8名程度のグループです。

4 走行について

- 鉱石の道サイクルコースの運営は、Asago Cycling（www.asagocycling.com）と共同で行います。
- 原則として、車道を通り、左側通行等交通ルールを順守します。
- ロードバイクのグループから先に出発します。
- 自転車は一列隊列となります。1チーム約7～8名で、先頭と最後尾にサイクルスタッフが1名つきます。
- このサイクリングはスピードを競うものではありません。よって、走行中は先頭のサイクルスタッフを抜かすことのないようお願いいたします。

6 休憩箇所について

- 休憩箇所にてサイクルスタッフが人数を確認しますので、グループごとに行動をお願いします。

7 体調不良について

- 途中、体調不良の方、また、なんらかの原因で走行が不可能と判断された場合は、遠慮なくサイクルスタッフへ声をかけてください。万が一途中で棄権する場合でも、必ずサイクルスタッフに声をかけてから隊列を離れてください。※点呼がとれない場合は、警察等へ連絡する場合があります。
- 棄権をされた方で、病院へ行く必要がある場合は、最寄りの救急病院へ搬送します。それ以外は救護車で最寄り駅まで送迎いたします。この際、電車内では持参の輪行袋が必要となります。

8 新型コロナウイルス感染症対策について

- 5月8日に5類に引き下げられたことから健康チェックシート提出・マスク着用等の感染症対策は行いませんが、体調管理として、下記症状にあてはまらないことをご自身で確認し、参加いただくようお願いいたします。

参加時の確認事項

37.5℃ 以上の発熱・倦怠感（だるさ）・体が重い、疲れやすい・味覚や嗅覚の異常・息苦しさ・せき、のどの痛み、鼻水など風邪の症状

9 保険について

- ご加入いただく旅行傷害保険については下記のとおりです。
（保険料は参加費に含まれています。）

国内旅行傷害保険

死亡・後遺障害 1,415万円

入院保険日額 7,800万円

通院保険日額 5,050万円

賠償責任 1,000万円

上記以外の内容については、保険適用対象外となります。

- 自転車保険には各自で加入をお願いします。

10 解散・その他について

- 終点は17時頃(予定)に城見台公園となります。完走証と参加賞をお渡ししたあと、順次解散となります。
- 事前に配布している、参加者アンケート（QRコード）にご協力いただいた方には後日カメラマンが撮影した写真を自由にダウンロードできるサイトURLをお伝えします。

11 連絡先について

問い合わせ等の連絡は下記までお願いします。

〒670-0912 姫路市南町76番地 城陽ビル2階

NPO法人姫路コンベンションサポート 依田(よだ)

TEL 079-286-8988 FAX 079-286-9009

【当日緊急連絡先】

運営・救護スタッフ 依田(よだ) 090-2041-9828

運営スタッフ 玉田(たまだ) 090-9166-1852

日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」サイクリングをより楽しんでいただくために

●本イベントでは日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」にゆかりのあるスポットを通り、サイクリングを楽しんでいただけます。参加当日までに予習をしていただくと、より一層お楽しみいただけますので、ぜひご一読ください。

日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」とは

兵庫県の中央部播但（播磨と但馬）地域を南北に貫く一本の道。飾磨港から生野、さらに中瀬に連なる全長73kmのこの道は、明治時代に鉱山の採掘・製錬に必要な機械や日用品などの物資と産出された金・銀・銅の鉱石を輸送するルートとして整備され、多くの人や馬車が盛んに行き交いました。

飾磨港から始まって終着点となる鉱山群へと道をたどると、鉱山と共生した宿場町や町家が次々と現れ、経営拠点が置かれた生野には今も稼働する金属工場から操業の音と製錬の匂いが放たれ「鉱山のまち」の活気を感じることができます。道は生野から北へとつづき、神子畑・明延・中瀬の鉱山にいられます。想像を絶するほどに地中深く掘られた坑道からは、金・銀・銅を求めた鉱夫たちの息遣いが聞こえてくるようです。

播但を貫いて鉱山群へと向かう旅。それは、鉱山まちが放ついづし銀の景観と生活の今昔に触れながら明治～大正～昭和へと連なる時の足跡を辿る旅路です。日本の近代化を支えた鉱物資源大国の記憶は、この地を旅する人々によって物語となり、現代に甦ります。

【おすすめスポット】

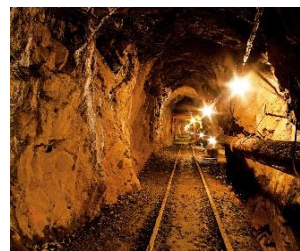
今回のサイクリングでは立ち寄りませんが、生野鉱山・神子畑選鉱場跡・明延鉱山などもおすすめです。もう一度日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」を楽しみにいらしてください。

詳しいストーリーや様々なイベント、観光スポット等については公式ウェブサイトをご覧ください。

【URL】<http://wadachi73.jp/>
※右にあるQRコードからもアクセスいただけます。



明延鉱山探検坑道（養父市大屋町明延）



【みどころ】

近代鉱山の姿を残す貴重な産業遺産として、旧世谷通洞抗の一部を見学でき、車両系鉱山機械や削岩機などが展示しており、稼働当時の坑道を体験できます。

飾磨津物揚場跡周辺に残るレンガ造建物の一部

【みどころ】

飾磨津物揚場跡は、銀の馬車道の発着点です。飾磨津物揚場跡周辺レンガ造建物の歴史を世代を越えて受け継ぐため、レンガ造建物の一部を現地企業の協力を得て移設保存し、モニュメントとして設置しています。

（姫路市飾磨区宮174-5）



アートワーク・神河（神崎郡神河町栗）



【みどころ】

JR長谷駅近くに、地域の魅力を発信するアート作品が完成。スポーツバイクをかけられるスタンドがあり、サイクリングの道すがら、愛車と一緒に播但線の列車や神河の山に咲く花などと記念撮影することもできます。

播但線の時刻に合わせて、立ち寄りてみてはいかがでしょうか。

現存する銀の馬車道 馬車モニュメント

（神崎郡神河町吉富畑川原）

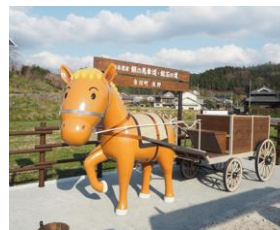


【みどころ】

現存する銀の馬車道と推定され、舗装されていない土道から当時の面影を感じることができます。馬車の御者台に乗って記念撮影できます！すぐ近くには道の駅 銀の馬車道・神河もあります。

銀の馬車道 馬車モニュメント ハヤブ

（神崎郡市川町浅野字堂ノ前479）



【みどころ】

馬車の御者台に乗って記念撮影ができるスポット。手綱を引くとおしゃべりしたり、夜にはライトアップされます。

※「ハヤブ」は銀の馬車道のイメージキャラクターです。

【日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」サイクリングの様子が見られます！】

サイクリングの様子、サイクリングの雰囲気や伝わるのではないのでしょうか。是非ご覧ください。

●第1回 日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」サイクリングの様子（ダイジェスト）

【URL】<https://youtu.be/OcgH4RkIJPk>

●第5回 日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」サイクリングの様子(かつおちゃんねるさんより)

【URL】https://www.youtube.com/watch?v=QpQ23_Mg210

※左にあるQRコードからもアクセスいただけます。

第1回

かつおちゃんねる

